

貯法：室温保存（寒冷時には凍結を避けること。）
使用期限：5年（使用期限の年月は外箱に記載されています。）

承認番号	40AY 87
薬価収載	1965年12月
販売開始	1965年12月
再評価結果	1992年6月

合成副腎皮質ホルモン剤

指定医薬品、要指示医薬品
注意—医師等の処方せん・指示により
使用すること

筋注用 ケナコルト-A

KENACORT-A INTRAMUSCULAR

トリアムシノロンアセトニド水性懸濁注射液

【禁忌(次の患者又は部位には投与しないこと)】

- (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 感染症のある関節腔内、滑液囊内、腱鞘内又は腱周囲 [免疫機能抑制作用により、感染症が増悪するおそれがある。]
- (3) 動揺関節の関節腔内 [関節症状が増悪するおそれがある。]

【原則禁忌(次の患者には投与しないことを原則とするが、特に必要とする場合には慎重に投与すること)】

- (1) 有効な抗菌剤の存在しない感染症、全身の真菌症の患者 [免疫機能抑制作用により、感染症が増悪するおそれがある。]
- (2) 消化性潰瘍の患者 [粘膜防御能の低下等により、消化性潰瘍が増悪するおそれがある。]
- (3) 精神病の患者 [中枢神経系に影響し、精神病が増悪するおそれがある。]
- (4) 結核性疾患の患者 [免疫機能抑制作用により、結核性疾患が増悪するおそれがある。]
- (5) 単純疱疹性角膜炎の患者 [免疫機能抑制作用により、単純疱疹性角膜炎が増悪するおそれがある。]
- (6) 後囊白内障の患者 [水晶体線維に影響し、後囊白内障が増悪するおそれがある。]
- (7) 緑内障の患者 [眼内圧が上昇し、緑内障が増悪するおそれがある。]
- (8) 高血圧症の患者 [ナトリウム・水貯留作用等により、高血圧症が増悪するおそれがある。]
- (9) 電解質異常のある患者 [ナトリウム・水貯留作用等により、電解質異常が増悪するおそれがある。]
- (10) 血栓症の患者 [血液凝固促進作用により、血栓症が増悪するおそれがある。]
- (11) 最近行った内臓の手術例のある患者 [創傷治癒を遅延するおそれがある。]
- (12) 急性心筋梗塞を起こした患者 [心破裂を起こしたとの報告がある。]

【組成・性状】

※1. 組成

本剤は1mL中にトリアムシノロンアセトニド40mgを含有する。
添加物としてベンジルアルコール9mg、ポリソルベート80 0.4mg、塩化ナトリウム及びカルボキシメチルセルロース Na7.5mgを含有する。

2. 製剤の性状

浸透圧比	約1(生理食塩液対比)
pH	5.0~7.0
性状	白色の水性懸濁注射液

【効能又は効果】

(筋肉内注射)

○慢性副腎皮質機能不全(原発性、続発性、下垂体性、医原性)、*副腎性器症候群、*亜急性甲状腺炎、*甲状腺中毒症

(甲状腺(中毒性)クリーゼ)

○慢性関節リウマチ、若年性関節リウマチ(スチル病を含む)、リウマチ熱(リウマチ性心炎を含む)、リウマチ性多発筋痛
○エリテマトーデス(全身性及び慢性円板状)、全身性血管炎(大動脈炎候群、結節性動脈周囲炎、多発性動脈炎、ヴェグナ肉芽腫症を含む)、多発性筋炎(皮膚筋炎)、*強皮症
○*ネフローゼ及びネフローゼ症候群
○*うっ血性心不全
○気管支喘息(但し、筋肉内注射以外の投与方法では不適当な場合に限り)、*薬剤その他の化学物質によるアレルギー・中毒(薬疹、中毒疹を含む)、*血清病
○*重症感染症(化学療法と併用する)
○*溶血性貧血(免疫性又は免疫性機序の疑われるもの)、*白血病(急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、慢性リンパ性白血病)(皮膚白血病を含む)、*顆粒球減少症(本態性、続発性)、*紫斑病(血小板減少性及び血小板非減少性)、*再生不良性貧血、*凝固因子の障害による出血性素因
○*限局性腸炎、*潰瘍性大腸炎
○*重症消耗性疾患の全身状態の改善(癌末期、スプルーを含む)
○*肝硬変(活動型、難治性腹水を伴うもの、胆汁うっ滞を伴うもの)
○*脳脊髄炎(脳炎、脊髄炎を含む)(但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること)、*末梢神経炎(ギランバレー症候群を含む)、*重症筋無力症、*多発性硬化症(視束脊髄炎を含む)、*小舞蹈病、*顔面神経麻痺、*脊髄蜘蛛膜炎
○*悪性リンパ腫(リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状肉腫)及び類似疾患(近縁疾患)、*好酸性肉芽腫
○*特発性低血糖症
○副腎摘除、*臓器・組織移植、*副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲
○*蛇毒・昆虫毒(重症の虫さされを含む)
○強直性脊椎炎(リウマチ性脊椎炎)
○*卵管整形術後の癒着防止
○*前立腺癌(他の療法が無効な場合)、*乳癌の再発転移
○**湿疹・皮膚炎群(急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など)(但し、重症例以外は極力投与しないこと)、*蕁麻疹(慢性例を除く)(重症例に限る)、**乾癬及び類症〔尋常性乾癬(重症例)、関節症性乾癬、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿疱疹、ライター症候群〕、**掌蹠膿疱症(重症例に限る)、**扁平苔癬(重症例に限る)、*成年性浮腫性硬化症、*紅斑症(*多形滲出性紅斑、結節性紅斑)(但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る)、*粘膜皮膚眼症候群(開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ペーチェット病(眼症状のない場合)、リップシュッツ急性陰門潰瘍)、天疱瘡群(尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Senear-Usher症候群、増殖性天疱瘡)、*デューリング疱疹状皮膚炎